

「迷惑メール」に誘導されてトラブルに!?

携帯電話やパソコンに届く電子メールやSMS(ショートメッセージサービス)等のうち、いわゆる迷惑メールに関連した相談が増えています。当センターで受けた昨年度300件の相談のうち48件(16%)が迷惑メールに関係しています。それをきっかけにトラブルになる危険性もあるため、最新の相談事例やアドバイスを紹介します。

【事例1】60歳代・女性・士別市
スマホに利用停止予告と題し「未払い料金支払いのお願い」がSMSで届き、問合せ先とURLが記載されていた。自分は問合せ先とは別の会社の携帯電話を利用しており、関係がないと思うが信用性はあるか。

【事例2】40歳代 女性 士別市
職場のメールアドレスに様々なクレジット会社を騙り、「カード利用確認」の迷惑メールが一日に3~5通ずつ届く。職場のアドレスであるため削除するしか止める方法はないのか。

【事例3】50歳代 男性 士別市
スマホに、ミドルネームが自分と同じ外国人の男性が亡くなり、遺産を譲りたいという内容のSMSが届いた。自分の電話番号と苗字(ミドルネーム)が相手に知られているのは確かだ。トラブルにならないか不安だ。

【ひとこと助言】

- 記載されている連絡先へは決して連絡しないこと、URLはタップしないこと
身に覚えのない内容のメールに対して安易に返信や電話をかけることがあります。その反応をきっかけにして別のサイトに誘導されてトラブルになってしまう場合や、やり取りの中で個人情報聞き出されてしまう危険もあります。
- 実在する事業者名が記載されているメールが届いて不安な場合には、事業者のホームページや問合せでメールを送っているか確認しましょう
【事例1】は他業者をかたっていることから、信用性は低く相手に連絡はしませんでした。
【事例2】は、カード会社のホームページに偽メールの実例を表記し、注意喚起が出されていることを伝え、セキュリティを上げるか、メールは開かず無視をする方法で様子を見るよう助言しました。
- OSやセキュリティソフトを最新の状態に更新しましょう
セキュリティの観点から、常日頃からスマートフォンやパソコンのOSや他のセキュリティソフトをインストールしている場合は、最新の状態に更新しておきましょう。
- 携帯電話会社やプロバイダと等の迷惑メール対策サービスを確認し活用しよう
拒否設定や、不審なメールは受信メールフォルダとは別のフォルダに隔離する設定ができる場合があります。契約先のサービスを確認し活用しましょう。
どうしても迷惑メールが止められない場合や、【事例3】のように自分の個人情報が何らかの理由で事業者知られている状態が不安なときは、メールアドレスや電話番号の変更も含めて検討するのも一考です。困ったときは下記相談窓口にご連絡ください。

消費生活相談専用ダイヤル (0165) 23-3820

午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝日を除く）

■事業者と消費者間の契約に関するトラブルや、消費生活で悩んでいる方専用
来所相談、電話相談、電子フォームでのご相談も受けています

